

## 令和5年度第2回埼玉県肝炎対策協議会 議事録

1 日 時 令和6年3月12日（火） 午後1時30分～午後2時30分

2 会 場 埼玉県医師会第1委員会室・Zoom（ハイブリッド開催）

3 出席者 登坂委員 持田委員 渡辺委員 吉永委員 池田委員 飯田委員 麻尾委員、鈴木委員

4 議 事

### （1）会長の互選

○互選により、埼玉県医師会登坂委員が今期の会長に就任。

### （2）肝炎対策事業実施状況について

○ 資料1を事務局から説明

### 【協議内容】

#### ○肝炎（医療・地域）コーディネーターのフォローアップ研修会①

持田委員 コーディネーターのフォローアップ研修会は、実際は日本肝臓学会が出資し、拠点病院が実施している。

県の説明では、県の取組と誤解される表現だったため、修正をするように。

事務局 実際の実施状況に沿う説明とするよう注意する。

#### ○肝炎（医療・地域）コーディネーターのフォローアップ研修会②

池田委員 フォローアップ研修会の案内は薬剤師会にも送ってほしい。

県内会員に送付する。講習会受講者の増加に寄与できると考える。

持田委員 フォローアップ研修会について、県HPによる告知が遅い。

講習会受講者の人数にも影響すると考える。

会場は1年前から予約している。周知時期を早めること。

事務局 拠点病院と日程確認し、早期に告知する。

#### ○コーディネーターの役割

渡辺委員 資料の中の「地域」コーディネーターの役割として、「助成制度の周知」が記載されているが、助成制度の周知は「医療」コーディネーターの役割としても大変重要である。

事務局 資料ではスペース都合で割愛したが、医療コーディネーターにおいても助成制度の周知、という役割は重要と認識している。

(3) 地域保健医療計画について

- 資料2を事務局から説明

【協議内容】

○目標値

池田委員 肝炎対策推進指針が地域保健医療計画に統合される、とのことだが、目標値はどうか？

事務局 ①肝炎ウイルス検査受診率、②専門医・講習会受講医の数、③コーディネーターの数、である。

渡辺委員 目標は達成できそうか？

持田委員 すぐに達成できる目標値である。

どのような数値設定をしたら肝がんの患者が減るか、という視点からの目標設定になっていない。

登坂会長 事務局には、目標値を100%確実に達成するような検討を進めてほしい。

○重症化予防

渡辺委員 肝炎対策事業においては、肝がんの撲滅が目的である。

そのためには重症化予防の取組が大事と考えている。

しかしながら、定期検査の件数が増加しておらず、重症化予防の取組が十分でないと感じている。

陽性と分かったら専門家につなぐ（初回精密検査）が大事である。

また、コーディネーターの周知も重要である。

重症化予防事業の効果的な運用について、ぜひとも考えて行ってほしい。

5 閉 会